



全国3000万人署名 甲賀市で目標1万筆突破

安倍政権が狙う憲法九条改憲。「戦争は絶対にしてはならない。憲法九条は守ろう」…全国3000万人署名運動。甲賀市が目標としていた1万筆が4月末で達成することができました。引き続き運動を広げよう。

憲法9条改憲許さず、憲法活かす政治実現を



近江茶 寒干害

生育期の異常な低温と乾燥が要因

日本共産党議員団が現地調査

「赤枯れ」：被害深刻

異常な低温と乾燥が原因で近江茶の産地では寒干害が発生、茶摘みシーズンを迎えた茶畑の各所に「赤枯れ」が目立っています。平均でも三割減、多いところでは五割以上の減収と品質低下が心配されています。事態を重視した日本共産党甲賀市議員団は4月27日、藤井三恵子県議とともに信楽町朝宮の被害状況を調査しました。

市によると今年1月から2月にかけて降水量が極端に少ないうえに、マイナス10度になる異常気象が続いたため、お茶が脱水症状に。そのため枯死する茶葉が各地にみられます。

信楽町朝宮地域では平均でも約三割が赤枯れ。被害が大きい地域では六割以上という地域もあるそうです。自然災害とはいえ、40年ぶりの寒干害に茶農家は収量減と品質低下に頭を痛めています。滋賀県の場合、茶生産には共済制度がなく、信楽町朝宮の茶農家の多くは専業ですから大幅な減収は直接経営に響きます。

40年前 山岡議員が取材

40年前の1977年3月13日付「滋賀民報」(上写真)。「寒干害赤枯れて枯死寸前 被害額4億円超」と報じていますが、この時取材をして記事を書いたのが、当時滋賀民報社記者(当時25歳)だった山岡光広議員でした。

今年の寒干害は、「40年ぶり」といわれていますので、茶産地の信楽町朝宮や土山町では、この時以来の被害に見舞われています。

山岡記者がこの時指摘したのは、直接的な要因は異常気象ですが、「茶産業に対する行政の取り組みの弱さが被害を拡大する要因になっていること」、「自然災害に対してほとんど救済補償制度がないこと」など、ここにメスを入れる必要があり、茶業農家の経営と生活を守るためにも国や地方自治体の抜本的な見直しが必要、と強調していました。

山ちゃんの一週間

●…3日(木)は、矢川神社春の例祭等。●…4日(金)・5日(土)は、畑仕事・夏野菜等。●…6日(日)は、13時から栗東で「憲法の集い」元文科省事務次官前川喜平氏講演会に参加、夜議員団会議準備。●…7日(月)は、10時から守山で生活相談、13時半から草津で会議、19時から草津で会議。●…8日(火)は、10時から湖南地区議員団会議、19時から近江八幡で会議。●…9日(水)は、9時半から市役所で議員団会議、午後ニュース作成、19時から栗東で会議。●…10日(木)は、9時半から市役所で議員団会議、14時から大津で会議、18時から県議補選事務所開き、19時15分から大津で会議。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員

活動報告

2018年5月13日
第708号

日本共産党

0748-86-2985 Fax0748-86-0415

yama729@maia.eonet.ne.jp <http://www.facebook.com/mituhiro.yamaoka>

このニュースは、毎週発行しています。fbでもご覧いただけます。また毎週金曜日早朝、甲南・寺庄・甲賀の各駅をまわって配布しています。